

いつもお世話になっております。ファクスお借りして恐縮です。ご発注よろしく願いいたします。
書肆心水 FAX 03-6677-0682

インド思想から仏教へ

仏教の根本思想とその真髄

高楠順次郎

何が継承され、何が否定され、何が新たに生み出されたのか

仏教誕生の事情と照らし合わせることで仏教の本質を明示する

日本近代仏教学の創始者が、キリスト教・西欧哲学との比較の視点から仏教の独自性を論証。無神論の宗教である仏教は、希望に生きる宗教ではなく、覚悟に生きる人格完成への宗教であることを示し、仏教の根本思想である諸行無常、諸法無我、涅槃寂靜の意味を明快に説く。

高楠順次郎（たかくす・じゅんじろう）

1866年生、1945年歿。1890年イギリスに留学。オックスフォード大学でマックス・ミュラー教授の指導を受ける。1899年東京帝国大学文科大学教授。1900年東京外国語学校校長を兼任。文学博士。1912年帝国学士院会員。1924年武蔵野女子学院創設、院長。1931年東洋大学学長。1934年大正新脩大蔵経百卷出版完成。1941年南伝大蔵経七十卷全訳監修出版完成。1944年文化勲章受章。著書、訳書、監修書多数、高楠順次郎全集全10巻。

●目次

仏教の根本思想

仏教以前のインド思想／仏教の継承
せる古教説／仏教の完成せる諸教説
／仏教の根本教義——四法印／仏教
の特質

仏教の真髄（抄）

インドの古俗／仏教とインド／無我
／無神／知性の宗教／人間性の自覚
／理想主義

新刊 注文扱返条付 (清藤)	取次番線印	インド思想から仏教へ 仏教の根本思想とその真髄 高楠順次郎 ISBN978-4-906917-72-3 C0015 A5判上製 352頁 本体6900円+税	9月下旬刊
	お名前		

ご注文は JRC へ 03-3294-2177

すべての取次への出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。(了解者 JRC 後藤)